

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回所沢市立所沢図書館協議会
開催日時	令和6年10月3日(木) 午前10時00分～12時00分
開催場所	所沢市役所 7階研修室
出席者の氏名	高橋順、猪口茂、喜多濃定人、河本直子、高橋宏司、土屋深優、藤本浩志
欠席者の氏名	齋藤千里、針生清美、秋本敏
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 第3次所沢市図書館ビジョン素案について (2) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回所沢市立所沢図書館協議会次第 ・ 第3次所沢市図書館ビジョン素案 ・ 所沢図書館協議会委員名簿 ・ 第4次所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)パブリックコメント一覧 ・ 第25回所沢図書館まつりチラシ ・ 令和6年度図書館要覧
担 当 部 課 名	<p>所沢図書館 館長 橋本浩志</p> <p>主査 下村恵利子 主査 小澤朋子</p> <p>主査 荒井英子 主査 金子大敏</p> <p>主査 吉田隆幸 主任 星拓伸</p> <p style="text-align: right;">所沢図書館 電話 04-2995-6311</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p> <p>図書館協議会について、事務局より概要の説明。 欠席委員、教育長、部長及び次長欠席の報告。</p>
事務局	<p>2 委嘱状の交付</p> <p>新しい任期となったため、委員へ委嘱状の交付。欠席委員へは後日事務局から送付予定。</p>
館 長	<p>3 挨拶</p> <p>館長挨拶</p> <p>館長挨拶後、各委員、次いで事務局職員の自己紹介を行う。</p>
事務局	<p>4 会長及び副会長選出</p> <p>各委員から立候補を募るが、立候補はなかった。委員からの推薦により、 【会長】高橋順委員、【副会長】喜多濃委員 を選出した。</p>
会 長	<p>挨拶</p>
副会長	<p>挨拶</p>
	<p>以下、会長が議長となり進行</p>
会 長	<p>協議に先立ち、会議の公開については、規定により原則公開となっている。 この会議について公開としてよろしいか。</p>
委 員	<p>（委員一同了承）</p>
会 長	<p>議事録の記録方法について要点筆記とすること、発言者について「委員」と</p>

	のみ記載されること、会議録の署名人を猪口委員、高橋宏司委員とすることとしてよろしいか。
委員	(委員一同了承)
会長	傍聴希望者の確認をお願いしたい。
事務局	(傍聴希望者4名)
会長	傍聴者へ注意事項について説明。
事務局	資料の確認
	5 議事
事務局	<p>(1) 「第3次所沢市図書館ビジョン素案」について</p> <p>事務局から、第1回図書館協議会で議事を諮ったところから変更のあった箇所について報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ビジョンタイトルを「第3次所沢市図書館ビジョン」から「第3次所沢市図書館ビジョンー実現に向けての事業計画ー」へ変更。 ●事業計画期間の位置を、第1章の2から第4章の1へ変更 ●第2章の1内(P14)の「埼玉県西部地域まちづくり協議会に日高市が加わり」の箇所について、次ページに注釈を追加。 ●第3章の1の「施策の体系図」を「構成図」へ名称を変更。
会長	変更箇所について質問・意見はあるか。
委員	(質問・意見は無し)
事務局	<p>事務局から、第3章の3「運営の基本方針と5つの基本目標」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前回の会議で「本に対するただのレファレンスではなく、色々なつながりが出来るような相談や関わりが持てるようなビジョンを描いた方が良い。」「本に対して話をしていき、その人たちがまた別の本に興味を持って、本の話を通して繋がっていく。そういうものをビジョンに入れて欲しい」との意見があった。これについて、「(1)の暮らしを支える」の2段落目に「小さな子どもから高齢者まで様々な市民が気楽に来館し、居心地の良い環境で本・情報・人

と出会い、関心や興味を共有し、つながりを育むことができる場を提供していきます。」と記載した。

●前回の会議で意見のあった、「柳瀬分館での司書と子どもたちの関わりから、その時はそれほど成果があるとは思えないことでも、時間をかけて成果に結びついている。目先のことだけでなく、人の心に触れるようなものをビジョンに盛り込めたらよい。」との意見を受け「地域を支える」の目標で「所沢への愛着を育むような取り組みを進めるとともに、図書館自体も市民に親しまれ誇れる施設を目指します。」とした。

●「未来を支える」では、「学校の先生方との連携がもっとあってもよいのではないか」との意見を受け、「すべての子どもが、読書を通して未来を生きていく力を蓄え、よりよき社会を担っていけるように、図書館と学校等の関係機関が相互に連携・協力して、読書環境の整備と充実を図っていきます。」とした。さらに、子どもを取り巻く大人たちに対しては、「地域と連携しながら子育て世代をサポートし、子どもの読書活動を支えていく」ことを新たに記載した。

この5つの基本目標について、(1)から番号付けがされているが図書館としてはどの目標も同じく重要なものと捉えている。記載順としては、運営の基本方針で「暮らしの中に図書館を…市民の暮らしに根差し、親しまれ、役に立つ図書館であることを目指します」としている流れで、(1)が「暮らしを支える」としている。そして、「暮らしを支える」の中に、課題解決やレファレンスサービス等が入っていることから(2)「学びを支える」と続き、調べるための読書、学習のための読書、そして趣味・娯楽のための読書など様々な目的で行う読書として(3)「読書を支える」としている。

委員の皆様には、目標の記載順などについてもご意見を伺いたい。

会 長

ここまでの内容について、質問・意見はあるか。

委 員

(3)「読書を支える」の中にある「日本語を母国語としない人」について考えたことはなかった。日本語を母国語としない方の図書館利用の可否と利用状況はどうなっているか教えて欲しい。

事務局

本の閲覧は誰でも可能である。外国の方は、館内のインターネット端末の利用が多く、身分証があれば利用可能である。本を借りるには、利用券の作成が必要であるが、市内に居住実態があれば外国の方でも利用券を作成できる。日本語を母国語としない方の利用券登録も少なからずある。外国の方の来館にあ

	<p>たつては、一人で来館する場合もあれば、付き添いがある場合もある。対応については、図書館職員が英語やそれぞれの言語に精通している訳ではないためカウンターに置いているコミュニケーションボードを活用して利用方法の説明を行っている。外国の方向けに外国語の資料の収集や、コミュニケーションの取り方などをしっかりと認識し、増加傾向にある外国の方にも対応できる図書館でありたいという想いを込めてビジョンに掲載している。</p>
委員	<p>外国語の本は一か所にまとめて排架しているのか。</p>
事務局	<p>児童・大人で分けて洋書コーナーに排架している。児童の絵本としては、英語・中国語・韓国語があり、大人は英語が中心となっている。整理とデータ付けが難しいこともあり、英語以外の本の蔵書が進んでいない。</p>
会長	<p>質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>
事務局	<p>事務局から、第3章「4. ビジョンの推進に向けて」について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前回の会議では第5章としていたが、構成の変更や5つの基本目標達成の基盤となるためビジョン全体の推進として第3章の4に移した。 ●第2次ビジョンで挙げていた「本館の機能強化」は、(1)市内サービスネットワークの充実の1行目に「本館が、市内の図書館ネットワークの中樞を担う役割を果たすため、コントロールタワーとしての本館の機能を強化・拡充していきます」と変更した。 ●「本館の職員体制の強化」について一項目追加した。 ●「資料の拡充」については、事業計画に記載があることから削除した。
会長	<p>事務局から説明のあった箇所について、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>「職員体制」について質問したい。図書館の職員には「司書」などの専門職が配置されているのか。</p>
事務局	<p>図書館という専門性から、図書館司書の配置が望ましいと考える。しかしながら、現状として司書率は100%ではない。5月1日時点での司書率は、本館47.8%である。7つある分館の司書率については、指定管理であるが所沢分館76.5%、吾妻分館85.7%、柳瀬分館85.7%、新所沢分館8</p>

	<p>8. 2%、椿峰分館87.5%、狭山ヶ丘分館90%、富岡分館66.7%、分館のみの司書率平均が83.6%、本館を含めた全体の司書率平均は75%である。本館の司書率が低い理由として、市の考えに「専門職（司書の有資格者）を配置する」がないことが挙げられる。</p>
委員	<p>本館のみ市の直営であるということか。</p>
事務局	<p>正職員23名と会計年度任用職員が在籍している。</p>
委員	<p>所沢市は、本館も指定管理にするという考えはないのか。</p>
事務局	<p>現状では本館は直営、7つの分館は指定管理という形となっている。</p>
会長	<p>ここまでの内容について、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>（意見・質問は無し）</p>
事務局	<p>事務局から、第4章「実現に向けての事業計画」について説明。 ●ビジョンの計画期間について、過去のビジョンは6年間であったが、市の上位計画の総合計画や教育振興基本計画策定のスケジュールを鑑みて今回の計画期間を5年とした。</p>
会長	<p>ここまでの内容について、質問・意見はあるか</p>
委員	<p>第4章－2. 施策体系図－「学びを支える」－（2）情報提供能力の充実に「電算システムの拡充」とあるが、「電算システム」という言葉は古いのではないか。</p>
事務局	<p>図書館の「電算システム」ということであれば、「図書館システム」という表記も行っている。図書館業務に特化した電算システムという意味であるが、委員ご指摘のとおりであることから、言い換えについて検討を行いたい。</p>
委員	<p>以前から感じていたが、第4章－2. 施策体系図－暮らしを支えるに入っているレファレンスサービスが、暮らしと直接結びつかない感じがする。</p>
事務局	<p>暮らしを支えるということに対して課題解決やレファレンスサービスがイメ</p>

	<p>ージしづらいとのことであるが、実際に受けたレファレンスでいえば「家に出ているネズミの対応方法について書いてある本はないか」というものや、「害虫駆除の仕方」、「庭に何の植物を植えたらよいか」、「散歩をしていた時に見つけた植物の名前を知りたい」などがある。これらは、全て暮らしの中の課題解決であり、レファレンスとして本の紹介を日々行っている。課題解決というと硬いイメージがあり、学習というイメージが付きやすいが、実際に学んでいる方よりも暮らしの中で出てきたものの方が多い。「図書館が暮らしの中で役立ってほしい」という想いを込めてレファレンスを記載しているが、内容が伝わりづらいとのことであるため、書き方について検討したい。</p>
委員	<p>分かりやすい言葉になるよう工夫してもらいたい。</p>
委員	<p>第4章-2. 施策体系図-学びを支える-(2) 情報提供能力の充実に「インターネット配信サービスへの対応」とあるが、具体的にどのような対応を考えているのか。</p>
事務局	<p>具体的な内容については、第4章を説明していくなかで説明させていただきたい。</p>
委員	<p>第4章-2. 施策体系図-「地域を支える」に「(1) 所沢ゆかりの郷土資料の収集・整備」とあるが、図書館だけでなく民俗資料館や生涯学習推進センターなどの他機関との連携はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>名称の上がった施設で、それぞれ重複した資料の収集を行うこともあるが、図書館の蔵書資料で補えない場合や市史に掲載されているような原資料を見なければ調べがつかないというような時は、類縁機関紹介として文化財保護課、ふるさと研究担当の連絡先を案内している。図書館としては蔵書して公表されているもの止まりとなるため、一般に公開されていないようなものについては、原資料を保存している文化財保護課が所有者との調整の担当となる。</p> <p>寄贈資料については情報共有を行っており、市民が広く情報に触れられるように図っているところである。</p>
会長	<p>他に、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>

事務局	<p>事務局から、「第4章-3. 実現に向けての事業施策」の「(1)暮らしを支える」から「(3)読書を支える」について説明</p> <p>●前回の協議会で意見のあった「利用者に寄り添えるような、色々な繋がりが持てるような相談や関わりが持てるようなビジョンにしてほしい」に対しては、P42のア「本との出会いを創出する空間」の後半部分に記載した。</p> <p>●先ほど質問のあった、「インターネット配信サービスへの対応」については現在新刊図書の案内や返却期限の通知サービスなどを希望する利用者提供している。今後の配信サービスについては、状況を見極めながら検討を行っていききたい。</p>
委員	<p>先ほど説明のあったレファレンスについて、内容を精査すると「暮らしを支える」の②「レファレンスサービスの充実と利用促進」と③「魅力ある空間づくり」は逆の方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>参考にさせていただく。「魅力ある空間づくり」については、図書館に来館する方に対するサービスになる。レファレンスサービスは、電話やウェブでの受付もっており、図書館に来館しなくとも出来るサービスである。</p>
会長	<p>説明のあった箇所について、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>「第4章-2. 施策体系図」の各項目の番号の表記が、「第4章-3. 実現に向けての事業施策」の内容と一致していないことから、見づらい図となっている。修正願いたい。</p>
事務局	<p>修正を行う。</p>
委員	<p>学びを支える-(2)情報提供能力の充実-インターネット配信サービスについては、「図書館から配信する」という解釈でよいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。</p>
委員	<p>「インターネット配信サービス」の項目に関連して、上述の「図書館ホームページ」とは別にSNSや動画配信サービスなどを検討していると解釈できるが、どのようなサービスを検討しているのか。</p>
事務局	<p>ホームページとSNSは別物として考えており、図書館ホームページとは別</p>

	<p>にSNSなどで拡充できるものがあれば拡充を検討するという意味合いで別建てとしている。</p>
委員	<p>配信というと、動画配信をイメージしてしまう人もいるかもしれない。「配信サービス」という用語が適切なのか否かについては、今一度検討願いたい。</p>
委員	<p>「インターネットを通じた情報発信」という用語でも良いのではないか。各種配信サービスというと、動画サイトやSNSなど既にあるサービスから何かを配信するという風にとらえてしまう。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
委員	<p>第4章-2. 施策体系図-暮らしを支える内の「多文化サービスの充実」について、公共図書館で多文化サービスと言った時に、外国の方の支援に加えて異文化・多文化理解といったところもするべきではないかと思う。こういったところを、書き加えてはどうか。</p>
事務局	<p>図書館から発信する多文化サービスも大事であるが、その他の方に理解してもらうことも大切だと思う。内容について、検討したい。</p>
委員	<p>「外国語の本が入っているのはなぜか」といった状況も理解してもらう必要があるかもしれない。身近に外国の方がいるという状況を、分かっている方とそうでない方で、考え方も異なってくると思う。所沢市内に色々な外国の方がいるというところから必要かと思う。</p>
委員	<p>最終的に「第3次所沢市図書館ビジョン」が公開され、理解度の異なる方々が見ることを考えると文言の整理はした方が良いと思う。例を挙げると「P46の“調査研究していきます”という言葉は結構重い言葉である。“検討していきます”“幅広い情報提供を行います”という表現もある。ぜひ見直していただきたい。</p>
事務局	<p>状況に応じて委員の皆様へ協力を仰ぐこともあるかと思われる。その際は、よろしく願いたい。</p>
会長	<p>他に質問・意見はあるか。</p>

委員	(質問・意見は無し)
事務局	<p>事務局から、「第4章-3. 実現に向けての事業施策」 「(4) 地域を支える」「(5) 未来を支える」について説明</p> <p>●前回の協議会において意見のあった、「ボランティア」の他の呼び方への言い換えについては、事務局内で検討したが適切な言葉が見つからなかった。</p> <p>●前回の協議会において指摘のあった、「子どもの頃の調べ学習の機会がレファレンスサービスの将来の利用に繋がるのではないか」については、P57に記載の「オ読書案内・相談サービス」に反映している。</p>
会長	<p>ここまでの箇所について、質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>「ボランティア」という言葉の置き換えについては、置き換えてその旨の説明をしても複雑になるため、やむを得ないかと考える。</p>
委員	<p>「ボランティア」の方々に一生懸命やっていただいている、もっと名誉的な職名をつけても良いのではないかとこのころで話をした記憶がある。子どもたちへの読み聞かせをはじめ、ボランティアでやっていただいている方がいて成り立っている。</p>
委員	<p>「図書館サポーター(支援ボランティア)」という名称もありうると思うが、如何か。</p>
事務局	<p>「図書館サポーター」の名称も検討を行ったが、配架ボランティアやおはなし会ボランティアを担ってくれている方々の名称について内部の実施要綱にて定めてしまっているところがあり、現時点で置き換えが出来る言葉がない。ビジョンにおいては煩雑になってしまうとの意見もあり、事務局では「ボランティア」とさせていただいた。</p>
委員	<p>第4章-3. 実現に向けての事業施策-(4) 地域を支える-②「学校・地域等の連携による推進体制の整備」について。自分は以前小学校に勤務していたが、小学校3年生の全学級訪問を実施していただいた際は子どもたちもすごく喜んでた。ありがたく思っている。また、連絡業務便についても、学校の所蔵する本に限られるなか、希望を出したら貸していただけるのをありがたく思っている。</p> <p>読み聞かせやおはなし会に携わるボランティアさんたちが、小学校1・2年</p>

事務局	<p>生向けの読み聞かせをする際に大型の絵本などを使ったりしているが、所蔵も少ないことから、飯能市から借りたりと色々と工夫している。所沢図書館ではどのようなサービス内容となっているのか。</p> <p>大型絵本について、所沢図書館で所蔵しているものについては貸出を行っている。ただ、大きな作品であり通常の大きさの絵本のように複数冊揃えるというのが難しくなっている。人気のある作品は同じタイトルのものを複数所蔵しているが、利用が重なると希望する日程で借りられないということも起こっている。個人でも大型絵本を借りることは可能であり、インターネットでの検索も行えるが、大型絵本を通常サイズの絵本と間違えて利用者が予約してしまうことがないように、カウンターでの予約のみ承っている。</p>
会長	<p>ほかに質問・意見はあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>
事務局	<p>事務局から、「第5章 進捗管理と評価」について説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運営施策の目標として第2次ビジョンから引き続き司書率を挙げている。分館を含めた図書館の専門性の維持向上のため、司書率を目標として内外にアピールすることが必要だと考えている。 ●基本目標について変更点は、「(2) 学びを支える」の評価事項が蔵書数であったが、収蔵スペースの限界から大幅な増加が見込めないため資料回転率とした。 ●「(5) 未来を支える」の評価事項について、第2次ビジョンの計画中に目標を達成したことや読書離れが進んでいることから「子ども1人あたりの児童書数」から「本を全く読まない子どもの割合」に変更した。
委員	<p>「本を全く読まない子どもの割合」は、図書館のみの取組で改善することは困難と考えるが如何か。</p>
事務局	<p>所沢市では「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」を策定しており、全市で取り組んでいる計画である。これについては、青少年課や学校教育課などの多くの部署と連携しながら行っているものであり、所沢市の子どもたちが読書に親しめるような施策を盛り込んで今年の3月に策定したところである。「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画」と「第3次所沢市図書館ビジョン」の両方で読書推進を図っていこうというものである。子どもの読書に関しては学</p>

<p>会 長</p>	<p>校図書館などと連携し、「子どもの読書活動」の方で別の指標も設けつつ、連絡会を開催し連絡調整を行いながら推進しているものである。これと合わせて子どもの読書を推進していきたいと考えている。</p> <p>説明の中にどこまで盛り込むかにもよるが、「子どもの読書活動推進計画」と関連してデータを使用するか入れた方が見たときに分かりやすいかもしれない。</p>
<p>事務局</p>	<p>意見を元に、内容について分かりやすく記載できるよう事務局で内容の検討を行いたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>小学校2年生と小学校5年生が対象ということで良いか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートについては、「子どもの読書活動推進計画」の方で市内の小中学校にご協力をお願いしているところである。アンケート調査の対象は、小学校2年生・小学校5年生・中学2年生である。</p>
<p>委 員</p>	<p>それまで対象学年のうち1クラスを抽出して行っていたものが、去年からタブレット回答となり対象学年の全クラスを対象としたのではなかったか。</p>
<p>事務局</p>	<p>お見込みのとおりであり、学校教育課と連携し実施している。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に質問・意見はあるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>今回は不要ということで資料編は付与されていないが、「読書を支える」などでの言及もあったことから「読書バリアフリー法」を資料編に併記してもよいのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「読書バリアフリー法」の表記については、第1章（P5）に記載があるが、指摘の通り資料編にも記載したい。</p>
<p>会 長</p>	<p>他に質問・意見はあるか。</p>
<p>委 員</p>	<p>（質問・意見は無し）</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局から、今後の策定スケジュールについて説明。</p>

	<p>①庁内意見の聴取 ②10月の政策会議において発議 ③11月22日から12月21日までの間、パブリックコメントを実施。 ④第3回図書館協議会において答申 ⑤教育委員会会議において議案の承認 ⑥令和7年3月に発行</p>
会 長	<p>今の説明において、質問等はあるか。</p>
委 員	<p>(質問等はなし)</p>
会 長	<p>質問等がないようなので、第3次所沢市図書館ビジョンについての協議を終了する。</p>
	<p>(2) その他</p>
会 長	<p>「議事(2) その他」に入る。事務局から、何かあるか。</p>
事務局	<p>前回、諮問をした際に教育長名で渡したが、正しくは図書館長名で渡すべきであった。改めて訂正したものをお渡しする。</p>
会 長	<p>その他、委員から何かあるか。</p>
委 員	<p>以前、申し上げたことがあるが、災害のニュースばかりで、大きな地震が何十年の間に必ず起きると言われている。図書館ビジョンの中にも何かそういう災害の項目があっても良いと思ったこともある。以前この質問をした際は、緊急事態時のマニュアルがあるという回答であったが、これからの時代、災害対応ということでより大きなマニュアルを作っておいた方が良いのではないかと感じる。今後に向けて、何かあるのであれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>所沢図書館として、災害の発生を想定したリスク対応マニュアルを作成してある。有事の際はこれに沿って動くこととなるが、地震等の災害はいつ起こるか分からないものであるため、日頃から来館者に適切な避難経路の案内など図書館でも災害を想定した訓練・シミュレーションを行っている。災害発生時に、市民にいかに速やかに避難していただくかを念頭に置きながら取り組んでいき</p>

委員	<p>たいと考えている。</p> <p>第一段階の避難ということと、多くの公共施設は避難後にどのような市民がどのような困難に直面し、その際に施設がどのような活動を行えるかを考えていると思う。図書館も数週間から数か月のスパンで停電や閉鎖せざるを得なくなった場合のマニュアルを作っておくと、役に立つ時がくると思う。</p>
委員	<p>図書館(本館)の工事について、耐震が強化されるということでよいか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。本館の建物自体は、昭和55年に建設されたものであり、建設から40年余り経過している。高天井が現在の耐震基準を満たしていないということと、地震等を想定した落下防止のための工事である。これと併せて、全照明のLED化工事も行っている。</p>
会長	<p>他に何かあるか。</p>
委員	<p>(質問・意見は無し)</p>
会長	<p>本日の議事がすべて終了したことから、進行を事務局に戻す。</p>
事務局	<p>事務局から、以下の事項について報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)」のパブリックコメント一覧について <p>前回の図書館協議会にて指摘のあった「第4次所沢市子どもの読書活動推進計画(素案)」のパブリックコメント意見一覧について、本日資料を用意した。意見募集期間は令和5年12月21日から令和6年1月20日までで、応募件数は4名、2団体から30件のご意見を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●所沢図書館本館の全照明LED化及び高天井の落下防止工事の進捗状況について ●レーザーディスク視聴サービスの終了について <p>所沢分館の視聴覚ブースにてサービスを提供していたが、機器が故障しサービスを提供できなくなった。機器の修理を検討したが、既にメーカーでの生産が終了しており修理部品も入手が困難となっている。また、代替となる機器の寄贈を募集したが、現時点で寄贈の申出もなく、サービスを終了せざるを得なくなってしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●所沢図書館まつりについて

	<p>今年も図書館まつりを本館・分館の各館で実施する予定である。本館では令和6年11月9日（土）及び10日（日）を予定している。本館は改修工事の臨時休館中であることから、臨時窓口で対応可能な範囲での実施を予定している。具体的には、除籍本のリサイクルや本の福袋を予定している。各分館については、チラシを確認いただきたい。ぜひ足を運んでいただきたい。</p>
会 長	<p>報告事項について、質問等あるか。</p>
事務局	<p>6 次回協議会の日程について 次回、第3回図書館協議会の開催を令和7年2月下旬に予定している。後日日程調整の連絡をさせていただく予定であるので、ご協力いただきたい。</p>
副会長	<p>7 閉会挨拶 副会長から、閉会の挨拶</p>
	<p>8 閉会</p>